

液体貨物の取扱いに関するデータベースの作成

## 報 告 書

平成 31 年 3 月 29 日

一般社団法人 日本海事検定協会

(検査第二サービスセンター)

## 目次

1. 目的
2. 調査方法
3. 調査結果
4. まとめ

## 1. 目的

当会の長年にわたる石油・化学品貨物等の液体貨物輸送に関わる検査・立会分析業務を通して得られた知見、及び公的規格や団体規格などの多種・多様にわたる分析の規格を有機・無機別にデータベース化し Web 上に公開する。また、これらのデータベースに加え、実際の機器の動画や画像を採用する事で、液体貨物の海上輸送に携わる輸出入商社、損害保険会社、船会社、製造会社等の不特定多数の関係者へ、様々な分析の手法がより身近に感じて頂く様に工夫し、品質の確認方法を簡潔に説明する事で我々の不可欠な物資、エネルギー等の取引の円滑化に寄与する。

## 2. 調査方法

当会に於ける原油・石油製品・化学品に精通している者 8 名（石油・化学品チーム及び各事業所、事務所）にて、液体貨物の取扱いに関わる情報が収められている「液体貨物ハンドブック」（1996 年発行、2012 年改訂、当会編集）に記載された内容に関し、最新の国内外規格や文献を参照の上でデータの見直しをする事に加え、長年にわたり検査・分析業務を通して得られた知見及び経験も必要に応じ加筆し、最終的に 1 つの資料データとして統合する。成果物としてまとめた資料を「液体貨物データベース」として Web 上で公開する。

## 3. 調査結果

「液体貨物ハンドブック 改訂版」に記載内容を抜本的に見直し、「液体貨物ハンドブック 改訂版 II」としてまとめた。前回の改定時、エタノールの比重表や酒精度換算表は旧表から国際アルコール表に移行している途中だったため、両方の表を掲載していたが、すでに移行が終わっているため旧表を削除した。また、「ケミカルズ 800」や「化学製品取扱必携」の改訂に伴い、得られた貨物データ等を選択し、性状表を最新にし、国内外規格の変更や削除等についても最新版に変更した。

## 4. まとめ

見直し・改訂した内容をデータベース化して不特定多数を対象に当会ホームページ上で公開し、これらのデータは定期的に見直し、必要に応じて Update を行う。